

よくあるご質問

キットについて

Q. 雄特異的応用プライマーはどの遺伝子配列を認識していますか。

A. 北海道立総合研究機構が特許権*を所有していた雄特異的遺伝子配列をターゲットとしています。
(* 特許第2664646号:現在特許の権利は終了しています。)

Q. 蛍光インターカレーターまたは蛍光目視検出用試薬を加えて蛍光で検出できますか。

A. 弊社では当該試薬系で蛍光検出の十分な検討をしていません。増幅の有無の検出には濁度測定装置で検出してください。

Q. 凍結融解は何回まで可能ですか。

A. 10回程度の凍結融解までは、通常問題なく使用できます。

Q. Extraction Solution (EX)の取り扱いについて注意点を教えてください。

A. Extraction Solution (EX)は別のチューブに小分けに分注して保存しないでください。また、試薬チューブの蓋は分注時以外は必ず閉めてください。Extraction Solution (EX)が過剰に空気に触れると、試薬が劣化しDNAを抽出できなくなる可能性があります。

サンプリングについて

Q. バイオプシーサンプル液は何が使用できますか。

A. 弊社ではマニピュレーション用として一般的に使用される、PBS、PVA-PBS、PVP-PBS、0.2M Sucrose-PBSがLAMP反応に影響を及ぼさないことを確認しています。DNase freeの精製水を用いることもできます。

Q. サンプリング量はどれぐらい必要ですか。

A. バイオプシーサンプルは、栄養外胚葉の10%以上(10細胞程度)を採取してください。

Q. Extraction Solution (EX)添加前のバイオプシーサンプルを凍結保存できますか。

A. DNA抽出前の凍結保存はサンプル採取の液量が6 μ Lと少量のため、サンプルが不安定になる可能性が考えられおすすりできません。

Q. DNA抽出後のバイオプシーサンプルを凍結保存できますか。

A. 抽出操作後に凍結保存(-20 $^{\circ}$ C)した場合、1週間程度は安定した反応を示すことを確認しています。

Q. バイオプシーサンプルにExtraction Solution (EX)添加後の放置時間について教えてください。

A. 放置時間は5分以上お願いします。放置後3時間までの安定性については確認しています。

Q. バイオプシーサンプルにExtraction Solution (EX)を添加する際、注意することを教えてください。

A. バイオプシーサンプル採取後は速やかにExtraction Solution (EX)を添加してください。添加後抽出用のチューブは確実に蓋を閉めて放置してください。蓋を開けたままにすると抽出試薬が劣化し抽出できなくなる可能性があります。

Q. バイオプシーサンプルの前処理用滅菌チューブに持ちこむ液量について教えてください。

A. バイオプシーした牛胚細胞塊を含むバイオプシーサンプル液6 μ Lを用いてください。液量が多い場合はDNAの抽出効率が低下し抽出できなくなる可能性があります。

測定について

Q. 本試薬の測定に使用できる機器はありますか。

A. エンドポイント濁度測定装置 LT-16(製造元:株式会社ニッポンジーン)での検出が可能です。また、リアルタイム濁度測定装置LoopampEXIA*(製造販売元:栄研化学株式会社)でも、以下のパラメータでご使用いただけます。

測定条件		判定条件		補正条件		スケール	
ブロック温度	63 $^{\circ}$ C	判定値	0.1	モード	勾配	上限/下限	0.6/-0.1
測定時間(分)	35分	フィルタ項数	20	アベレージ項数	5	酵素失活	
ボンネット温度	73 $^{\circ}$ C (自動)	項間隔	25	補正時間1	8分	酵素失活の有無	有
		除外前時間	10分	補正時間2	10分	ブロック温度	80 $^{\circ}$ C
ベースライン補正	有	除外後時間	35分			滞在時間	5分

LT-16につきましては(株)ニッポンジーン(<https://nippongene.com>)にお問い合わせください。

* 一般用医療機器 特定保守管理医療機器 (届出番号:26B3X0000100001026)

Q. 雄特異反応のみ測り、雌雄共通反応を測らなくてもいいでしょうか。

A. 万一、サンプル調製ミスで牛胚のDNAが反応チューブに入らなかったとき、あるいは、何らかの原因でサンプルが変性した時などの場合、雄特異反応のみだと誤判定につながります。この種の誤判定を防ぐためにも雌雄共通反応を実施してください。

結果判定について

Q. 雄特異反応が(+)、雌雄共通反応が(-)に出ました。

A. サンプルミスや、増幅反応が適切に進行していない等の可能性があります。再試験してください。

Q. 雄特異反応、雌雄共通反応共に(-)に出ました。

A. サンプルミスや、増幅反応が適切に進行していない等の可能性があります。再試験してください。

各製品の使用上又は取扱い上の注意については、使用説明書をご参照ください。

製造販売元

 **栄研化学株式会社**
〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木 143番地

販売元

 **ささえあ製薬株式会社**
sasae.co.jp

販売元

富士平工業株式会社
東京都文京区本郷6丁目11番6号

8235 | AMK

2024年 2月作成